

「海洋テロワール」シンポジウム

「はじめの一步～海からの地方創生に取り組む」

オンライン



令和4年5月13日(金)

15:00～17:00

座長

藤井 輝夫

EAJ海洋テロワール リーダー(東京大学 総長)

主催

公益社団法人日本工学アカデミー

お申込み方法

本シンポジウムは、Zoomを利用したオンライン開催となります。

参加ご希望の方は、下記注意事項をご一読の上、下記フォームよりお申込みください。

お申し込みフォーム

申込締切: 令和4年5月12日(木)17:00

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdas5HCHaBSUyt9s5VGY8HpooXYHUZK6a8LJAnjt7pMbeZWxw/viewform> こちらのQRコードからもアクセスできます▶▶▶



注意事項

- ① お申し込みいただいた際の個人情報については、本シンポジウムに関する以外には利用しません。
なお、運営の都合上、主催者側の関係者で共有させていただきますので、この点ご了承ください。
- ② 本シンポジウムについては、事務局が記録用として録画させていただきます。
- ③ シンポジウム当日は、所属と氏名を画面に表示していただくようお願い致します。
- ④ 「参加URL」はお申し込み頂きました方のみ前日にメールでお送りいたします。

お問い合わせ先

事務局【担当 菊地・日浦】

✉ mail : kikakuka@jamstec.go.jp

☎ phone : 090-2723-2922

日本工学アカデミー(EAJ)では、政策提言プロジェクトの一環として、「海洋研究の戦略的推進プロジェクト」(リーダー:藤井 輝夫 現東京大学総長)を立ち上げ、2021年3月に報告書「海を知り、新たな恵みを拓く“海洋テロワール”について」をまとめました。

この報告書では、地球に生きる私たちの共有財産である海に関し、将来にわたって持続可能な形で利用していくため、海の将来像として「豊穡の海」の実現を掲げ、人と自然の共生を図りながら、海の恵みを育み、高い付加価値を生み出していく方策を提案しています。

この「海洋テロワール」は、人々の暮らしや文化と海域の生産力を持続可能な形で統合する理念です。そこでは、市民の誰もが参加できる民主的で開かれた場を設定し、関係するすべての人々が自分事として共に意思決定や具体的な取り組みに参画することを目指します。

また、市民の参加を促進するためには、科学的なエビデンスに基づく海洋活動の基盤としての「海洋データ・情報の共有」や、それを媒介として海洋空間と市民を繋ぐことで海洋への関心を高める「海洋観測の民主化」など、最新のデジタル技術を活用した取り組みが必要不可欠です。

このたびEAJでは、「海洋テロワール」を実現するための「はじめの一步」として、市民参加とデジタル技術をキーワードに、海洋に関わる地域課題の解決に向けたパイロットプロジェクトについて考えるシンポジウムを企画しました。

本シンポジウムでは、地域のステークホルダーの方々と一緒に、科学技術を活用しながら様々な課題の解決に取り組む日本各地の事例を紹介し、今後の方向性について、有識者の方々と議論を深めたいと考えております。

幅広い皆様のご参加をお待ちしております。



公益社団法人

日本工学アカデミー

THE ENGINEERING ACADEMY OF JAPAN

プログラム

1. 主催者挨拶

2. 「海洋テロワールの実現のための「初めの一步」 ～総合知による地方創出のためのパイロットプロジェクト～（仮）」

藤井輝夫 座長

3. 「国連における STI for SDGs 推進システムと市民参加の役割」

EAJ 中村道治 顧問

4. 「海と希望の学校 in 三陸」

東京大学大気海洋研究所大槌沿岸センター長 青山潤 教授

5. 「海洋科学と地元課題のマッチ・ミスマッチ」

東京大学大気海洋研究所 伊藤幸彦 准教授

6. 「海洋情報通信の民主化が切り拓く地域未来社会協創」

東京大学 次世代サイバーインフラ連携研究機構長 中尾彰宏 教授

7. 「科学技術による養殖改革と地域活性化の取り組み： 『ながさき BLUE エコノミー』」

長崎大学 海洋未来イノベーション機構長 征矢野清 教授

8. 「持続可能な事業づくりを考える～金融機関の視点から」

(株)日本政策投資銀行 業務企画部イノベーション推進室 竹森祐樹 室長

9. 総合討論

モデレータ 東京大学大学院新領域創成科学研究科
保坂直紀 特任教授（サイエンスライター）

10. 座長取り纏め

総合司会：EAJ 森本浩一 常務理事